

第 2 期「久留米市まち・ひと・しごと創生」の概要

久留米市人口ビジョン（R2年3月改訂）

中長期的展望（2060年を視野）

1 人口の現状分析

【久留米市の人口動向】

- ◎国勢調査人口では、長年続いた人口増加が、2010年で減少したが、2015年は増加に転じた
- ◎住民基本台帳人口では、2013年度から2016年度まで4年連続で人口増加していたが、2017年度から減少
- ◎出生数は緩やかに減少し、死亡数は年々増加。出生率は2017年で1.57と、全国・県平均よりも0.1ポイント程度高い
- ◎2013年度から4年連続の転入超過が、2017年度から転出超過になった
- ◎年代別では20代の男性、地域別では東京圏や福岡市など大都市圏への人口流出が顕著
- ◎市内中央部地域のみ人口増加。その他の地域は減少、特に、東部地域で人口減少が大きい
- ◎外国人人口は増加を続け、2018年度は約4,000人

【将来人口の推計】

- ◎社人研準拠の推計では、国調ベースで2060年：25.2万人まで減少
- ◎市独自推計では、2060年には最大で25.9万人まで抑制可能。中長期的には人口減少は避けられない
- ◎市独自推計では、高齢化率を2060年には最大で31.3%まで抑制可能。

【人口の変化が市の将来に与える影響】

- ◎「地域経済の縮小と日常生活圏の持続性の低下」「産業における労働力の不足」「個人市民税の減少と扶助費の増加」等の影響が懸念される

2 人口の将来展望

【目指すべき将来の方向】

- ①就労と、結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現する
- ②東京圏や福岡市への人口流出に歯止めをかける
- ③人口減少・超高齢社会・外国人増加など時代を見据えた都市を構築する

【人口の将来展望】（ ）は住基ベースに換算した値

- ◎2020年：303,498人（2020年度末：305,000人）
2060年：257,077人（2060年度末：259,000人）
- 自然増減に関する仮定（出生率）：2030年に国民希望出生率1.8を0.1上回る1.9、2040年に2.07まで上昇
- 社会増減に関する仮定（純移動率）：2025年まで年間250人程度の流出傾向、2026年以降は人口移動が均衡（転入者と転出者が同数）
- ⇒2060年に約46,000人、高齢化率5.4ポイント改善の施策効果を実現

成果目標

R7年度（25年度）末 人口30万人

第2期久留米市地方創生総合戦略（R2（2020）～R7（2025）年度の6か年）

R5年12月改訂

基本目標

1 安定した雇用を創出する

【数値目標】

- ・労働者数（雇用保険適用者数）
82,687人 ⇒ 90,000人
(H30) (R7)

2 久留米市への新しい人の流れをつくる

【数値目標】

- ・大都市圏からの転入者数
3,152人 ⇒ 3,345人
(H28～30平均) (R7までの平均)
- ・観光客数と観光消費額
600万人 ⇒ 650万人
127億円 ⇒ 145億円
(H30) (R7)

3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

【数値目標】

- ・子育てしやすいまちだと思う市民の割合
75.0% ⇒ 80%
(R1) (R7)

4 安心な暮らしを守る

【数値目標】

- ・住み続けたいと思う市民の割合
79.6% ⇒ 85%
(R1) (R7)

5 広域拠点の役割を果たす

【数値目標】

- ・久留米市の15歳以上80歳未満の滞在人口
平日237,673人 ⇒ 基準値
休日237,672人 を維持
(H30) (R7)

施策の基本的方向

①頑張る企業や事業者を地域で応援する

②学術研究機能の集積を活かす

③「農業都市 久留米」の魅力を高める

④久留米市での就業を応援する

⑤久留米を知って感じてもらう

⑥希望の暮らしをサポートする

⑦文化と観光で人を呼び込み、滞在時間の延長を促す

⑧希望がかなう就労環境を整える

⑨結婚・妊娠・出産・子育て・教育の不安を軽くし、希望の実現を後押しする

⑩拠点の都市機能と交通網を強化し、暮らし続けられる災害に強いまちをつくる

⑪健康で安心して暮らせる日常を守る

⑫連携中枢都市として圏域の魅力を高め、大都市圏への人の流れを食い止める

⑬生活圏を一にする近隣自治体との連携を強化し、地域全体の振興を進める

■総合戦略推進にあたってのポイント

- ・地域をあげての協働による推進
- ・福岡県との連携の推進と国の制度の積極的な活用
- ・検証組織による、基本目標及び重要業績指標の達成状況検証

政策パッケージ

1 雇用・就業・創業応援パッケージ

- ①② 産業拠点整備・集積推進事業（新たな産業団地の整備、産業団地や中心市街地オフィスへの企業誘致）
- ① 地域企業成長支援事業（DXによる生産性向上の取組支援、企業の魅力発信、消費喚起の取組支援）
- ① ものづくり企業イノベーション促進事業（新製品等の実用化支援、コーディネーターによる伴走支援 など）
- ② バイオ産業振興事業（大学等との共同研究、新規施設の建設、創業・医薬品等の共同研究支援）
- ② 大学等と連携した新製品等開発支援事業（専門的知識を有する人材の配置、新製品等の実用化支援）
- ③ 久留米でやってみよう農・就農なんてん応援事業（就農相談、実践研修の実施、スマート農業の促進）
- ③ 「農業都市 久留米」の情報発信事業（都市圏へのPRやメディアの活用、道の駅の機能強化 など）
- ④② 「久留米で創業・就業」応援事業（創業の支援、インターシップ促進セミナーや合同会社説明会の開催 など）
- ⑧ ワーク・ライフ・バランス応援事業（DXによる働き方改革、ワーク・ライフ・バランス推進のための企業支援）
- ⑧ 女性活躍促進事業（経営者・労働者向け各セミナー等の開催、子育て中で就職希望者への相談会実施 など）

2 魅力の創出で人を呼び込むパッケージ

- ⑦② 地域資源観光活用事業（各エリアの魅力を活かした誘客、MaaSを活用した観光商品開発 など）
- ⑦ MICE誘致推進事業（大規模スポーツ大会の誘致、アターコンベンションの魅力発信による宿泊の促進 など）
- ⑦② 文化芸術による楽しみ創出事業（文化芸術の鑑賞機会の提供、電子図書館の導入 など）
- ⑦ 音楽によるまちづくり推進事業（音楽への関心を深めるイベント開催、人材の発掘・育成 など）
- ⑦ 歴史ルートづくり事業（歴史ストーリー情報発信、有馬家久留米入城400年関連イベント開催 など）
- ⑩ 歩行者と自転車に心地よいまちづくり事業（中心拠点歩行空間や自転車通行空間整備 など）

3 子育て子育て応援・移住定住につなげるパッケージ

- ⑨ 結婚・子育てつよーいみかた事業（こども子育てサポートセンターでの支援、子ども医療費無償化拡大 など）
- ⑨ 子どもの保育環境整備事業（送迎保育ステーション実施や保育士人材確保、学童保育所整備 など）
- ⑩ 鳥類センター・拠点公園魅力向上事業（鳥類センターの魅力の創出、Park-PFIによる公園の活用）
- ⑦② 文化芸術による楽しみ創出事業【再掲】（文化芸術の鑑賞機会の提供、電子図書館の導入 など）
- ⑦ 音楽によるまちづくり推進事業【再掲】（音楽への関心を深めるイベント開催、人材の発掘・育成 など）
- ⑦ 歴史ルートづくり事業【再掲】（歴史ストーリー情報発信、有馬家久留米入城400年関連イベント開催 など）
- ⑤① スポーツで元気づくり事業（運動習慣がない市民向けスポーツ教室等実施、トップアスリート支援・PR）
- ⑩ 環境まなびのまちづくり事業（参加型イベント等による環境配慮行動の促進、環境教室等の開催）
- ② 大学等の姿がみえるまちづくり事業（各機関の体験教室等の開催支援、認知度向上のための情報発信）
- ⑨ げんきに学ぶくめっ子事業（ICT活用による教育の充実、放課後等補充学習会等の実施 など）
- ⑤ くるめの魅力発信事業（ターゲットに応じたプロモーションの実施、イメージキャラクター等を活用した情報発信）
- ⑥② 定住誘導推進事業（相談窓口によるきめ細かな支援、子育て世代へのプロモーションの実施 など）

4 住みやすさ向上パッケージ

- ⑩ 中心拠点・地域生活拠点整備事業（特定用途誘導地区の導入、鉄道駅周辺活性化、買い物支援 など）
- ⑩ 歩行者と自転車に心地よいまちづくり事業【再掲】（中心拠点歩行空間や自転車通行空間整備 など）
- ⑩② みんなで支えるモビリティ事業（交通結節機能向上やバリアフリー化、MaaSによる公共交通利便性向上 など）
- ⑩ 幹線道路等整備促進事業（関係機関との連携による広域幹線道路整備促進、中環状・内環状道路の整備）
- ⑩ 浸水被害対策事業（国・県と連携した浸水被害対策実施、浸透ます設置等の雨水流出抑制対策実施）
- ⑩ 空き家の流通・活用支援事業（空き家情報バンク等による流通支援、リフォーム助成の実施 など）
- ⑪ セーフコミュニティ推進事業（取組の定着・拡大の促進、地域の取組への支援、通学路の安全対策）
- ⑪ 防災対策事業（デジタル技術を活用した災害情報取得、防災士、防災リーダーの育成 など）
- ⑪ 健康のびのび・安心事業（検診の予約受付や受診勧奨、健康のびのびポイント実施、ドクター運行 など）
- ⑤① スポーツで元気づくり事業【再掲】（運動習慣がない市民向けスポーツ教室等実施、トップアスリート支援・PR）
- ④① 多文化共生推進事業（国や県と連携した外国人受入支援、一元的相談窓口の設置 など）
- ④⑥ パーチャル市役所づくり事業（行政ワライン手続きの充実、デジタル技術の活用、窓口レイト見直し など）

5 東部地域振興パッケージ

- ⑦ 東部地域資源観光活用事業（魅力を活かした新たな誘客、魅力ある地域資源の発掘と情報発信 など）
- ⑥⑩ 東部地域居住環境向上・移住定住促進事業（交通渋滞対策、移住定住総合相談体制の運用 など）
- ⑥⑦⑬ 東部広域連携推進事業（観光や移住に関する情報の相互発信、連携による新たな交流人口創出）

6 西部地域振興パッケージ

- ⑥⑩ 西部地域公共交通利用・移住定住促進事業（公共交通の利便性向上、転入者の定住促進 など）
- ⑦ 西部地域資源観光活用事業（魅力を活かした新たな誘客、福岡都市圏などへの戦略的な情報発信）
- ⑦⑩⑬ 西部広域連携推進事業（幹線道路の整備促進、集客イベントでの連携、観光ルートの創出・情報発信）